

中山間地域対策について

自治振興課中山間地域振興室

中山間地域とは

- ◆ 海岸部や山間部といった過疎地域等の条件不利地域
- ◆ 「島根県中山間地域活性化基本条例」に定める次の地域
 - ① 過疎地域
 - ② 特定農山村地域
 - ③ 辺地
 - ④ これらと同等に条件が不利である地域

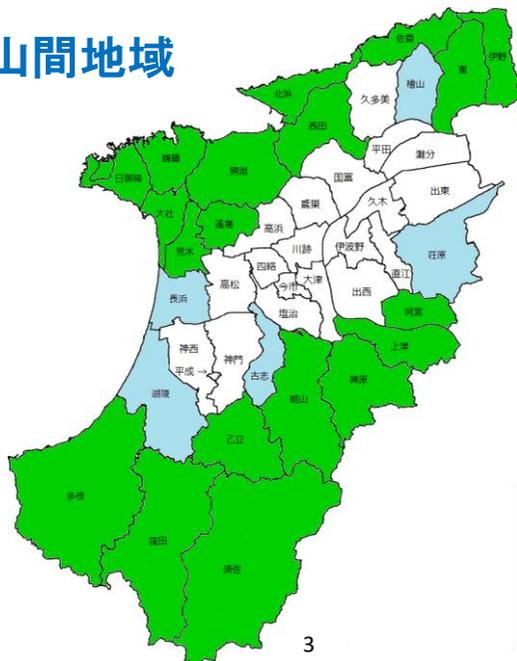
出雲市の中山間地域

旧市町単位 19地区

- 出雲地域 4地区(上津、稗原、朝山、乙立)
- 平田地域 6地区(西田、鱈淵、北浜、佐香、東、伊野)
- 佐田地域 2地区(須佐、窪田)・・・旧佐田町全域
- 多伎地域 1地区(多伎)・・・旧多伎町全域
- 大社地域 5地区(大社、遥堪、荒木、日御碕、鶉鷺)
- 斐川地域 1地区(阿宮)

※古志、長浜、檜山、湖陵(旧湖陵町全域)、荘原の5地区は、
地区の一部が中山間地域に該当

出雲市の中山間地域



凡例

■ 中山間地域

■ 一部中山間地域

出雲市の人口(令和4年4月末)

区 分	人 口 (人)		65歳以上の人口 (人)		面 積 (km ²)	
	人口	割合	人口	割合	面積	割合
出雲市全体	174,308	—	52,488	(29.9%)	約624	—
中山間地域	33,491	(19.2%)	12,058	(36.0%)	約389	(62.3%)
非中山間地域	140,817	(80.8%)	40,430	(28.7%)	約235	(37.7%)

- ①出雲市の面積の約62%が中山間地域です。
- ②出雲市の人口の約19%が中山間地域で暮らしています。

4

中山間地域への支援事業の取組について

(1)平成22～27年 モデル地区への集落支援員の配置

5つの地区をモデル地区とし、6年間集落支援員を配置

(平田)鰐淵、(佐田)須佐・窪田、多伎、(大社)日御碕

- ① 地域への目配りとして、集落の巡回、状況把握及び課題分析
- ② 地域の課題解決のための具体的方策の検討及び実施の支援
- ③ 地域の話し合いを促進するとともに、活性化に向けた取組の発案や支援
- ④ 集落応援隊と連携し、円滑な集落応援活動を支援

5

(2)平成25～29年6月 過疎地域支援センターの設置

- 地域の再生を目指しコミュニティビジネス創出などに向けた話し合いが加速している佐田・多伎地域の取り組みを支援するため、佐田支所(行政センター)内に「過疎地域支援センター」を設置
- 過疎地域支援専門員を配置し、本庁関係部署、支所(行政センター)、集落支援員と連携し、より地域に密着した集落応援隊活動、元気の出る地域づくりを支援する体制を構築

6

(3)平成28年10月 地域おこし協力隊員の配置

① 制度概要

総務省の制度により、都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住居を異動し、生活の拠点を移した者を、地方公共団体が「地域おこし協力隊」として委嘱します。

隊員は、一定期間、地域に居住して、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこしの支援や、農林水産業への従事、住民の生活支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図ります。

② 活動期間 1年以上3年以下

7

③活動及び業務

うみ・やま(中山間地域)応援センターの職員として、活動地区の各種団体との連携を密にしながら次の活動を行う。

- 活動地域(地域活動団体)との連携、協力による業務遂行
- 地域活動への参加及び参画(集落応援活動、イベント、祭り、自治活動など)
- 連絡会議、研修会、成果報告会等への参加
- 各種業務における提案と実践

8

全国の地域おこし協力隊員数

年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
隊員数	89	257	413	617	978	1,511	2,625	3,978	4,830	5,359	5,349	5,464	6,005
団体数	31	90	147	207	318	444	673	886	997	1,061	1,071	1,065	1,085

隊員の約4割が女性

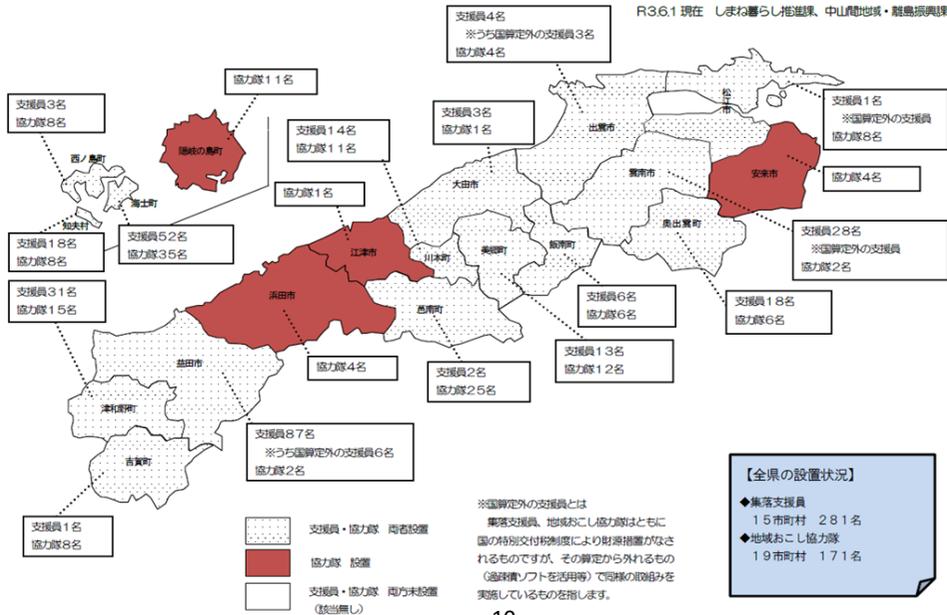
隊員の約7割が
20歳代と30歳代

任期終了後、約6割
が同じ地域に定住

9

「集落支援員」・「地域おこし協力隊」の設置状況

R3.6.1現在 しまね暮らし推進課、中山間地域・離島振興課課長



出雲市の地域おこし協力隊員数

地域	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
佐田地域	←→		←→		←→		
多伎地域	←→					←→	←→
大社地域			←→			←→	
平田地域					←→		←→
合計	2	2	3	4	2	4	3

平成29年7月

うみ・やま(中山間地域)応援センターの設置

- ▶ 過疎地域(佐田地域・多伎地域)＋海岸部＋出雲地域南部などの中山間地域における主体的な地域おこしの取組を支援するため「うみ・やま(中山間地域)応援センター」を設置。



令和3年8月 中山間地域振興室の設置

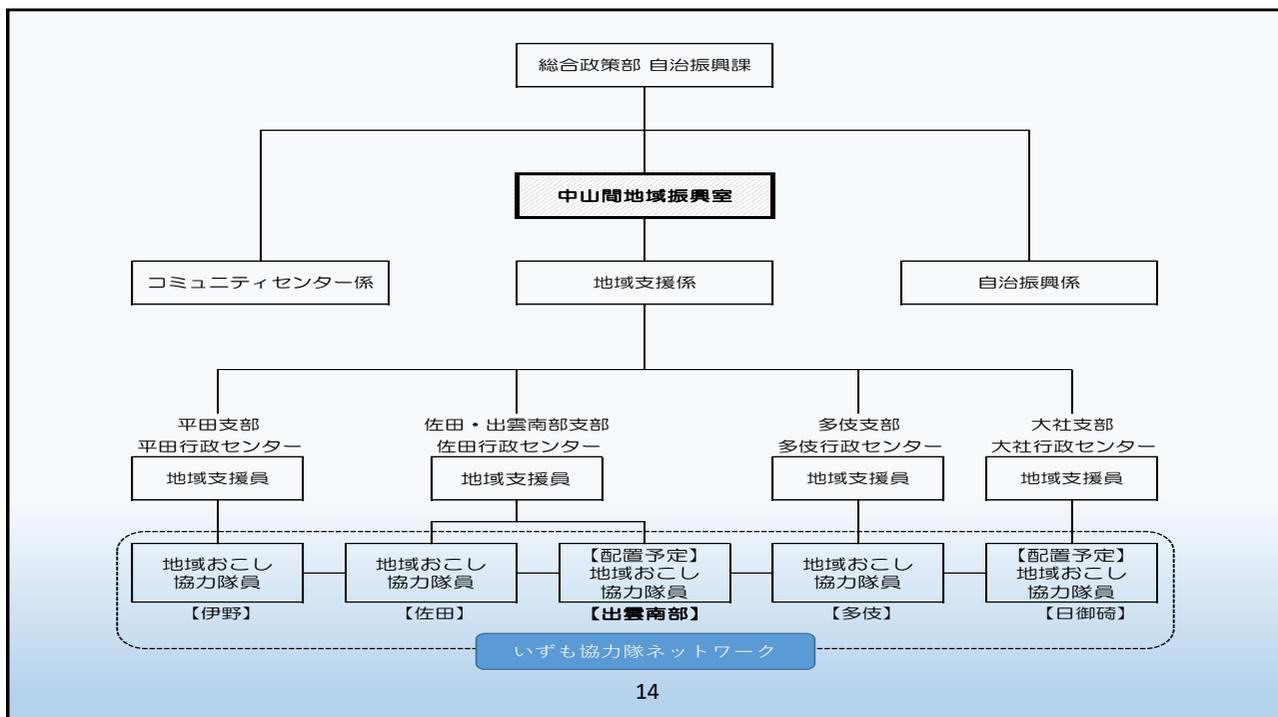
12

中山間地域振興室について

海岸部や山間部といった中山間地域における情報・課題の共有を図りながら、地域の主体的な取組支援をより強化する。

- ①中山間地域における課題及び情報の収集に関すること。
- ②中山間地域における地域づくりの支援に関すること。
- ③うみ・やま支援施策検討会議に関すること。
- ④地域おこし協力隊に関すること。
- ⑤集落応援隊に関すること。
- ⑥他の機関及び団体との連絡調整に関すること。

13



中山間地域の支援事業や制度について

担当課	事業名	事業概要	過去の主な成果
医療介護連携課	診療所の運営	(1)橋波診療所 (2)乙立里家診療所 (3)塩津診療所 (4)日御碕診療所 (5)鷺浦診療所	R2実績 (営業日数、延べ受診者数) (1)橋波 89日、476人 (2)乙立 189日、1,008人 (3)塩津 50日、160人 (4)日御碕 47日、291人 (5)鷺浦 95日、395人
産業政策課	出雲市中山間地域へのオフィス開設支援事業	コロナ禍における、ソフト産業を中心とした都市部企業の地方進出の動きが広がりつつある流れを受けて、中山間地域への拠点開設への新規立地をサポートするとともに、全市的課題である人口減少地域の活性化や空き家活用の促進を図る。 ・出雲市中山間地域へのオフィス開設支援事業助成金 補助対象業種等：ソフト産業、企業のバックオフィス部門	FISM(株) 稗原地区(野尻町) 出雲オフィスの開設 ※空き家改修

FISM(株)

東京都渋谷区に本社を置き、インターネット広告代理業やインフルエンサーを活用したSNSマーケティング事業などを行う。

同社は、出雲高校の同級生である銭本さん、白枝さんの両氏が平成27年に東京で立ち上げたIT企業で、このたび、自社開発アプリのサポート、システム開発などを行うためのサテライト拠点として、野尻町の空き家を改修し、出雲オフィスを開設されました。



16

旧日御碕小学校を活用するサテライトオフィス整備事業

平成27年3月に閉校となった日御碕小学校を活用し、3階の教室をサテライトオフィスとして整備し、貸オフィスとして、4月からオープンしています。

現在、4社がサテライトオフィスとして活用され、また多目的ルームとして、オンライン会議スペースとワーキングスペースの貸出も行っています。



17

旧日御碕小学校を活用するサテライトオフィス整備事業



18

中山間地域の支援事業や制度について

担当課	事業名	事業概要	過去の主な成果
農業振興課	中山間地域等直接支払交付金	<p>農業生産条件が不利な状況にある中山間地域の集落等において、農業生産の維持を図りながら多面的機能を確保、促進するための協定を締結し、その協定に基づく活動について支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業費上限：協定で保全管理する農地（農振農用地である田、畑、草地、放牧地）の面積に、各交付単価を乗じた金額（「棚田地域振興活動加算」等各種加算措置あり） ・補助率：国1/2、県1/4、市1/4（地元負担なし）※一部地域は国1/3、県1/3、市1/3 	<p>令和2年度 協定数：76協定（75集落＋1組織） 交付額（事業費） ：107,173,546円</p>

19

中山間地域の支援事業や制度について

担当課	事業名	事業概要	過去の主な成果
森林政策課	出雲市有害鳥獣被害対策事業(被害防止施設整備事業)補助金	本市における農林業生産の向上と農林業経営の安定を図ることを目的として、個人又は団体が有害鳥獣による農林業被害を防止するために設置する電気柵等の侵入防止柵の資材購入費に対して、補助金を交付している。 ・補助率：4万円以上の資材購入経費に対し2分の1以内 ・補助限度額：15万円	補助件数及び補助金額 H30 87件 5,920千円 R1 114件 7,978千円 R2 123件 8,540千円
森林政策課	有害鳥獣捕獲業務	農作物に被害を及ぼすシカやイノシシの捕獲を捕獲班員に委託して行っている。	捕獲奨励金等支出額 H30 46,142千円 R1 44,235千円 R2 51,278千円

20

中山間地域各地区の課題（特に重要な課題）

	上津	稗原	朝山	乙立	西田	鱒淵	北浜	佐香	伊野	須佐	窪田	岐久	田儀	日御碕	鶉鷺	阿宮
			世代交代の不安	年少人口の減少	若い人の参画	若い人の参画	若い人の参画	若い人の参画		役員の担い手	役員の担い手			次世代リーダー	会員高齢化	役員の担い手
人口減少・高齢化	空き家				空き家	空き家	空き家	空き家	空き家	空き家	空き家	空き家	空き家	空き家	空き家	
		農地転用			職場付近転居		職場付近転居	職場付近転居	職場付近転居	市街地転居	市街地転居	市街地転居	市街地転居			市街地転居
							独居高齢者世帯増		独居高齢者世帯増		独居増	高齢者世帯増				独居増
						独身者増								独身者増		独身者増

21

中山間地域各地区の課題（特に重要な課題）

	上津	稗原	朝山	乙立	西田	鱒淵	北浜	佐香	伊野	須佐	窪田	岐久	田儀	日御碕	鶉鷺	阿宮	
生活機能の維持・確保		草刈り		草刈り	草刈り	草刈り	草刈り		草刈り	草刈り	草刈り	草刈り	草刈り				
	買い物							買い物				買い物	買い物		買い物	買い物	
	互助組織の維持	互助組織の維持	互助組織の維持					通院送迎									互助組織検討
		福祉バスのみ	路線バス料金高い	路線バス料金高い							地域交通	地域交通			地域交通	交通不便	

22

中山間地域各地区の課題（特に重要な課題）

	上津	稗原	朝山	乙立	西田	鱒淵	北浜	佐香	伊野	須佐	窪田	岐久	田儀	日御碕	鶉鷺	阿宮
地域産業の振興		雇用の場確保				お金落とす仕組み		お金落とす仕組み						地元産品使用拡大		
					農業後継者	茶後継者	漁業後継者	漁業後継者	漁業後継者	農業後継者	農業後継者	いちじく後継者		商店漁業後継者	漁業後継者	
	有害鳥獣	有害鳥獣			有害鳥獣	有害鳥獣			有害鳥獣		有害鳥獣	有害鳥獣	有害鳥獣	有害鳥獣	有害鳥獣	有害鳥獣
		耕作放棄地対策		国際農園維持	荒廃地増							農地荒廃	荒廃地増	荒廃地増		

23

うみ・やま支援施策検討会議

1. 会議設置の目的

中山間地域における生活機能の確保及び地域活性化を図り、安心して心豊かに暮らせる持続可能な地域づくりを進めるため、より具体的な施策を横断的に検討する。

2. 体制

(1) 横断的な施策決定のための会議

副市長を委員長とした担当部・課長による会議

(2) 具体的な施策を検討し、上記会議に提案するワーキングチーム

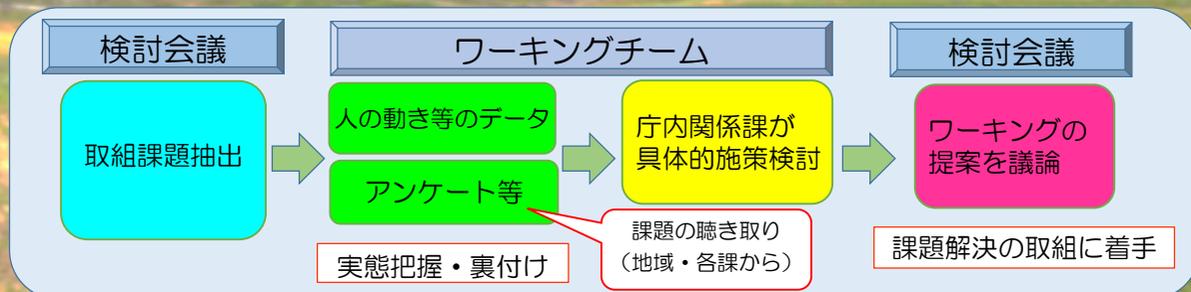
担当職員、地域支援員によるワーキングチーム

※ いずれも、自治振興課中山間地域振興室が事務局を担当

24

3. 検討の進め方

- ① 優先的に取り組む課題を会議において抽出
- ② 課題ごとに庁内の関係課によるワーキングチームを立ち上げ
- ③ ワーキングチームがデータやニーズを分析・把握し、具体的な 施策を検討
※ 県中山間地域・離島振興課、島根県中山間研究センターの協力を得て行う。
- ④ ワーキングチームによる施策案を、検討会議において議論し実施へ
- ⑤ 検討会議は、施策の進行管理を行い、継続的に施策の改善を図る



25

ワーキングチーム

課題	ワーキング名	項目	関係課
人口減少・高齢化	地域の担い手づくり	U・Iターン お嫁さん、お婿さん 住居(空き家・宅地含む) ふるさと教育 地域おこし協力隊員	縁結び定住課 建築住宅課(空き家対策室) 農業委員会 教育政策課 市民活動支援課 行政センター
生活機能の維持・確保	安心なくらしづくり	草刈 在宅介護、通院 交通 買い物	道路河川維持課 農林基盤課 農業振興課 交通政策課 医療介護連携課 商工振興課 情報政策課 行政センター
地域産業の振興	活力ある産業づくり	後継者、事業承継 雇用 鳥獣被害 集落営農	産業政策課 商工振興課 森林政策課 水産振興課 農業振興課 行政センター

24

元気！やる気！地域応援補助金【中山間地域拡充】による支援

山間部や海岸部といった中山間地域における生活維持・地域活性化に向け、地域の主体的な取組支援を強化するため「元気！やる気！地域応援補助金」に「中山間地域枠」を設ける。

1. 補助対象要件

- 地域課題解決に向けた取組であること
- 自治協会等が自らソフト事業に取り組むこと
- 他地域への波及効果もねらい一定のモデル性があること

2. 補助額(補助率は10分の10以内)

中山間地域枠の自治協会等で取り組む場合、50万円を限度

27

3. 令和3年度 事業概要

自治協会等	事業名	地域課題・事業目的	取組内容
多 伎	育もう豊かな心・育てよう多伎の子ども事業	人口減少が進む中、子どもたちが、多伎の自然や人を愛し、住み続けるためには、豊かな心を育てることが大切。地域みんなで子どもを育てることが、元気な多伎になるとの思いで事業を実施する。	・多伎中学生に、夢と希望を描く「夢と希望Tシャツ」を作成する。 ・植松努「思うは招く」講演会で、夢を諦めないことの大切さを伝える。 ・大島功央「ロケット教室」でロケット作成を体験する。
佐 田	佐田イメージアップ事業（さだ未来ビジョン）	人口減少、高齢化により集落の維持が厳しくなってきた。持続可能な地域づくりのため、住民の郷土愛の醸成を図り、一体的な地域振興を推進する必要がある。	・佐田地域戦略会議、ビジョン策定部会を中心に「さだ未来ビジョン」を策定し、今後の佐田の指針としていく。
伊 野	持続可能な伊野をつくるアクションプラン実行と人材育成	「伊野の将来を考える動画」作成による住民間での問題意識の共有化、「持続可能な伊野を創る総合推進計画（伊野ビジョン）」の作成と、継続して事業展開を図ってきた。今後は、計画内にある各分野の具体的な事業を展開していく。	・計画内各分野のアクションプランを部会で実行する。「持ち歩き危険マップ」を作成等 ・セミナー等を開催し、まちづくりを進める人材を育成する。

28

関係人口とは

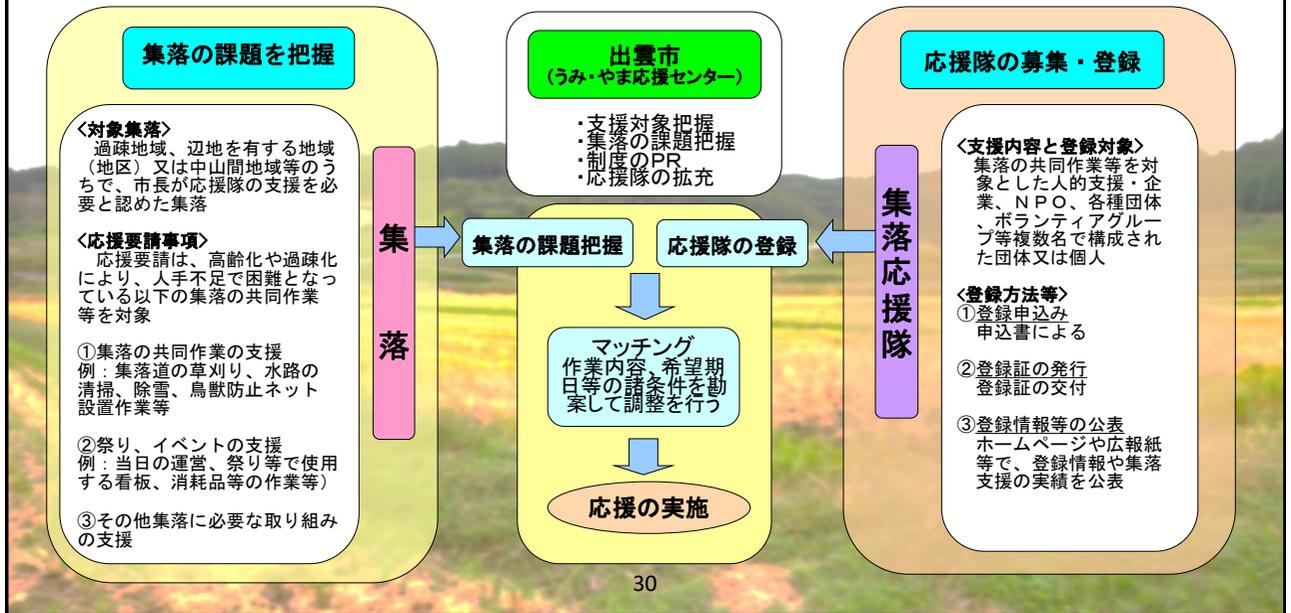
移住した「定住人口」でもなく、観光で来た「交流人口」でもなく、地域と多様に関わる人々を指す言葉です。中山間地域は、人口減少・高齢化により地域づくりの担い手不足という課題に直面していますが、地域によっては若者を中心に、変化を生み出す人材が地域に入り始めており「関係人口」と呼ばれる地域外の人材が、地域づくりの担い手となることが期待されています。

集落応援隊とは

高齢化や過疎化による人手不足で、道路側溝の泥上げ、草刈、除雪、集会所の掃除、お祭りなど集落の共同作業が困難になりつつあるため、企業、NPO、各種団体やボランティアグループ等複数名で構成された団体又は個人に、応援隊への登録、応援活動の実施を呼びかけて集落を支援しようというものです。

29

出雲市集落応援隊のしくみ



ご清聴ありがとうございました

自治振興課 中山間地域振興室